

| 授業科目名                | 授業形態 | 単位数 | 担当教員名 |
|----------------------|------|-----|-------|
| 子どもの理解と援助<br>(発達心理学) | 演習   | 1   | 藤井裕子  |

記載不要

#### 【授業のテーマ及び到達目標】

テーマ:子ども理解について基本的知識を学び、保育者・教育者としての役割を自覚する。

到達目標

- 1、子どもを理解することの意義を学び、知識と方法を身につけて説明できる。
- 2、保育者・教育者として実際の場面で子どもを援助する具体的な方法を実行できる。
- 3、子どもを取りまく今日的な課題を踏まえ、幼稚園と小学校の連携、専門機関との連携について実践できる。
- 4、保護者の心情を理解し、基礎的な対応方法を実践できる。

#### 【授業の概要】

本講義では子ども理解のための基盤となる発達や教育の理論を学び、保育者・教育者として適切な援助が行えることを目的とする。実際場面での具体的なかかわりや指導方法を通して子ども理解を深める。また個別の支援や保護者支援を含めた対応について幅広く習得するように講義を進める。

#### 【全体の授業計画・内容】

- 1、オリエンテーション、子ども理解の意義と目的  
【事前学習】配布資料を読み概要をまとめる(0.5 時間)  
【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5 時間)
- 2、子ども理解の基本的知識(1)発達および学びの過程  
【事前学習】発達に関する配布資料を読み概要をまとめる(0.5 時間)  
【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5 時間)
- 3、子ども理解の基本的知識(2)子どもをとりまく環境  
【事前学習】環境についての配布資料を読み概要をまとめる(0.5 時間)  
【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5 時間)
- 4、子ども理解の基本的知識(3)保育者・教育者の基礎的態度  
【事前学習】保育者、教育者の態度や心構えの資料を読み概要をまとめる(0.5 時間)  
【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5 時間)
- 5、子ども理解の方法(1)保育や教育の実際の場面における観察、記録  
【事前学習】保育などの実際場面を想定し概要をまとめる(0.5 時間)  
【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5 時間)
- 6、子ども理解の方法(2)かかわりや援助の省察、評価  
【事前学習】援助について配布資料を読み概要をまとめる(0.5 時間)  
【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5 時間)
- 7、子ども理解の方法(3)個と集団との関係をとらえる  
【事前学習】配布資料を読み概要をまとめる(0.5 時間)  
【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5 時間)
- 8、子ども理解の方法(4)気になる行動への対応と援助  
【事前学習】気になる行動とは何か資料を読み概要をまとめる(0.5 時間)

|   |
|---|
| <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5 時間)</p>   |
| <p>9、子ども理解の方法(5)特別な配慮を必要とする子どもへの対応と援助</p> <p>【事前学習】特別支援教育に関する配布資料を読み概要をまとめる(0.5 時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5 時間)</p> |
| <p>10、保護者の心情への理解と援助</p> <p>【事前学習】配布資料を読み概要をまとめる(0.5 時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5 時間)</p>                             |
| <p>11、子ども理解を深める組織内での協力体制</p> <p>【事前学習】組織内体制に関する配布資料を読み概要をまとめる(0.5 時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5 時間)</p>               |
| <p>12、保育所・幼稚園と小学校との連携、支援の接続</p> <p>【事前学習】保・幼・小の連携に関する資料を読み概要をまとめる(0.5 時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5 時間)</p>           |
| <p>13、地域の専門機関との連携、協働</p> <p>【事前学習】専門機関の資料を読み概要をまとめる(0.5 時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5 時間)</p>                         |
| <p>14、保育・教育の場におけるこれからの課題</p> <p>【事前学習】配布資料を読み概要をまとめる(0.5 時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5 時間)</p>                        |
| <p>15、筆記試験およびまとめ</p> <p>【事前学習】全体を通して疑問や不明な個所の点検、資料の不備をまとめる(0.5 時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を総合的に各自のノートにまとめる(0.5 時間)</p>              |
| <p>【学習のあり方】テーマに応じて学生自らの主体的な学習を進めるためのグループ討議と発表を取り入れる。</p>  |
| <p>【成績評価】定期試験: 講義最終回に筆記試験(50%)</p> <p>平常試験: 筆記試験およびレポート(50%)</p>  |
| <p>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】毎回リアクションペーパーを用い学習状況を確認し、次回の講義で解説を行い質疑応答に対応する。</p> <p>提出されたレポートはコメントをつけて返却する。</p>                 |
| <p>【テキスト】特に指定しないが、内閣府の「幼稚園教育要領」等は使用する。その他に必要資料を配布する。</p>  |
| <p>【参考文献】内閣府ほか編著「幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育保育要領・保育所保育指針」<br/>無藤隆ほか著「子どもの理解と援助」光生館</p>  |
| <p>【実務経験の有無】</p> <p>実務経験など: 教育委員会のスクールカウンセラーおよびスーパーバイザーとして勤務、東日本大震災等における緊急支援教育活動、教員や保育者研修の講師</p>                                |